

# Ⅲ 風水害編

## 第1章 災害想定

### 1 水害

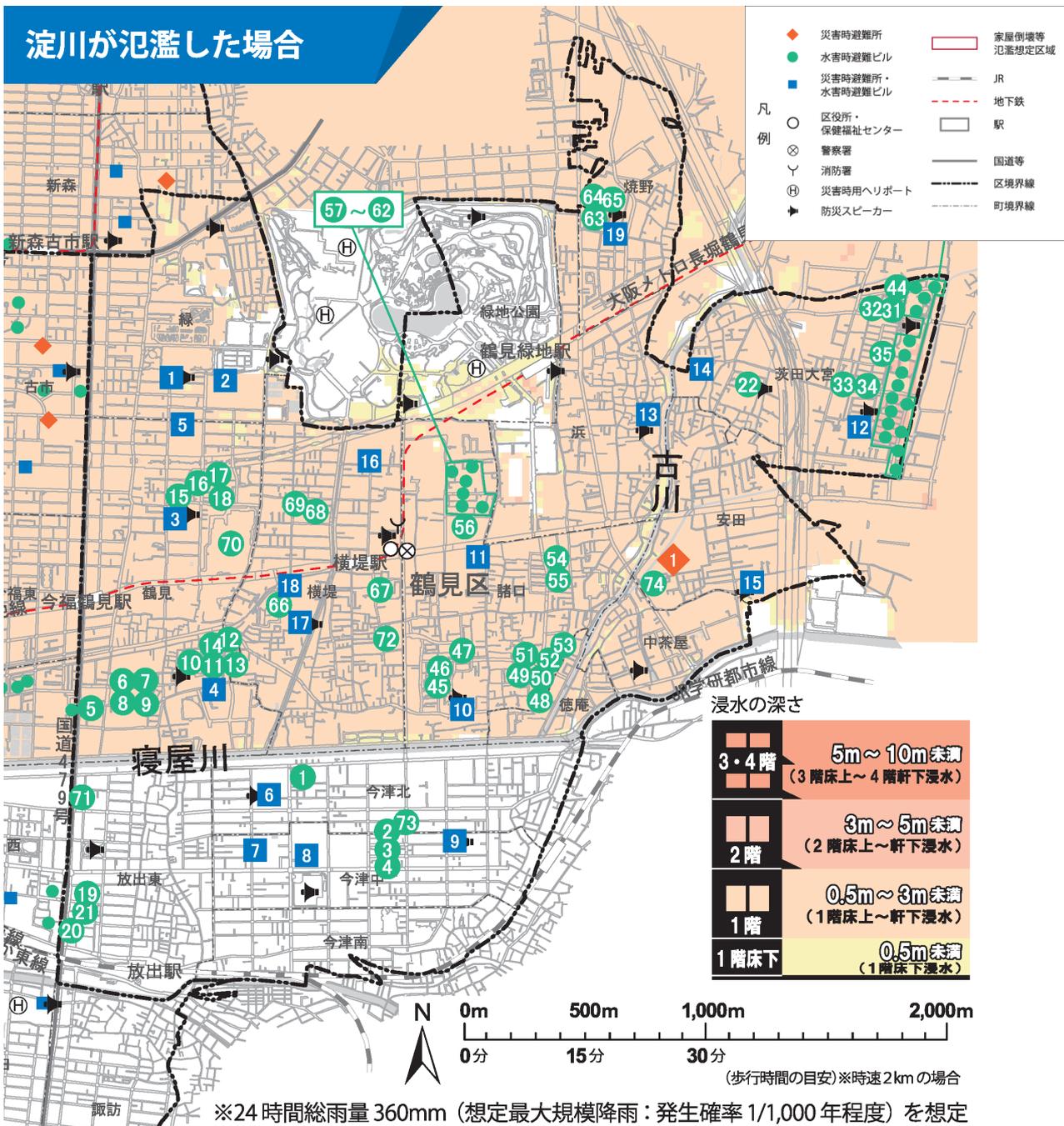
鶴見区では、河川(外水)氾濫、内水氾濫と一部地域で南海トラフ巨大地震による津波と台風による高潮被害が発生する可能性があります。



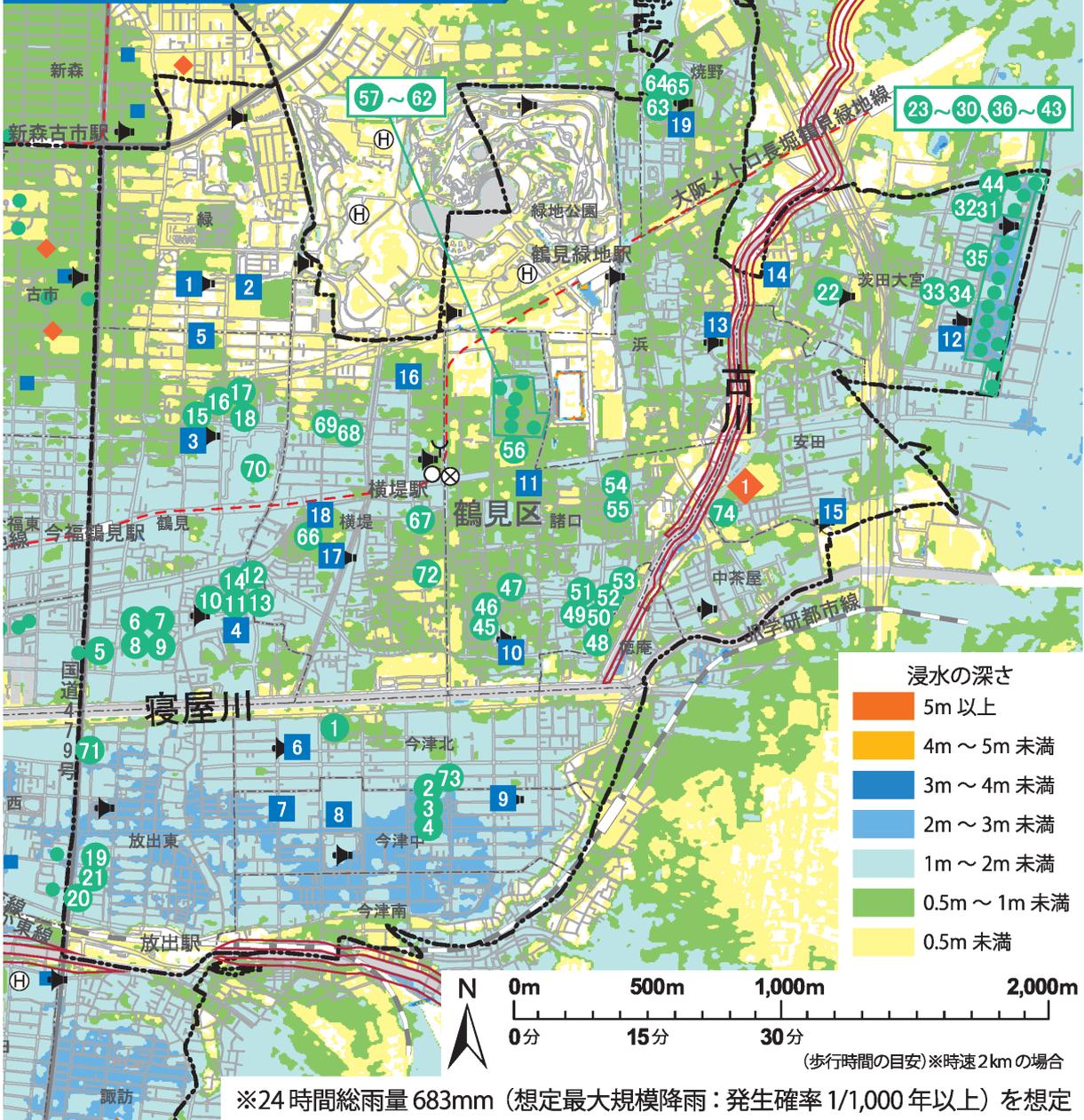
#### ・河川氾濫

河川氾濫とは、ゲリラ豪雨などにより河川の水位や流量が異常に増え、堤防よりも水位が高くなってあふれたときや、堤防が壊れて河川の水が市街地に流れ込むことです。

以下、河川氾濫を想定する浸水予報河川と浸水想定区域を示します。鶴見区では、淀川、寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路・古川が氾濫した場合に大きな災害となる可能性があります。



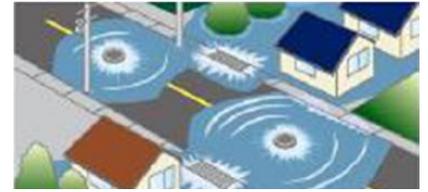
寝屋川流域の河川（寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路・古川）が氾濫した場合  
 (この浸水想定区域図は、河川氾濫と内水氾濫を合わせたものです。)



◆	災害時避難所	□	家屋倒壊等 氾濫想定区域
●	水害時避難ビル	—	JR
■	災害時避難所・ 水害時避難ビル	- - -	地下鉄
○	区役所・ 保健福祉センター	□	駅
⊗	警察署	—	国道等
⌵	消防署	- - - -	区境界線
⊕	災害時用ヘリポート	- · - · -	町境界線
▶	防災スピーカー		

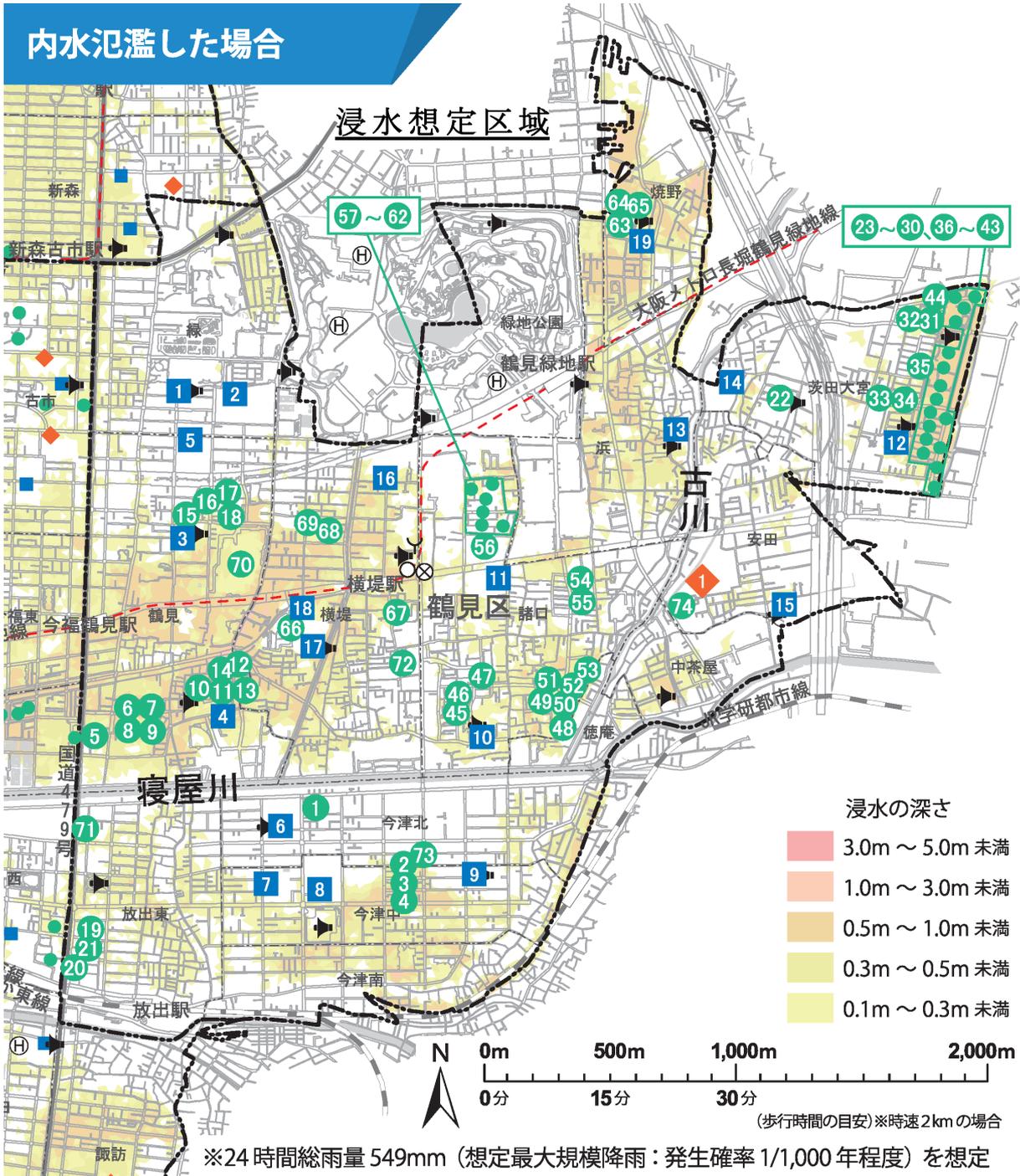
・内水氾濫

内水氾濫とは、市街地に降った雨が、本来であれば側溝や下水道で排水されるどころ、一時的に排水量を上回る雨が降り排水が追い付かなくなってその場に雨水がたまったり、土地の低いところの高い所から流入することにより建物や道路が雨水につかってしまうことです。



鶴見区でも台風や近年のゲリラ豪雨などにより、一部の地域で内水氾濫による浸水が発生しています。

内水氾濫した場合



◆	災害時避難所	□	家屋倒壊等 氾濫想定区域
●	水害時避難ビル	—	JR
■	災害時避難所・ 水害時避難ビル	- - -	地下鉄
○	区役所・ 保健福祉センター	□	駅
⊗	警察署	—	国道等
⌵	消防署	—	区境界線
Ⓜ	災害時用ヘリポート	- - -	町境界線
▶	防災スピーカー		

## 2 台風・局地的集中豪雨(いわゆるゲリラ豪雨)

熱帯や亜熱帯の海上で発生した低気圧(熱帯低気圧)のうち、中心付近の最大風速がおよそ 17m/s 以上になったものを台風と呼びます。台風は、日本付近に停滞する前線の活動を活性化させ大雨を降らせませす。

また、近年、限られた地域で短時間に降る局地的豪雨のため浸水被害が多発しています。この集中豪雨をもたらす積乱雲(入道雲)は、短時間で急激に発達するため、台風などと異なり、予測が非常に困難です。



### 風と雨の強さ

風の強さと想定される被害

平均風速 (m / 秒) 予報用語	想定される被害
10 以上～ 15 未満 やや強い風	傘がさせない
15 以上～ 20 未満 強い風	風に向かって歩くことができない
20 以上～ 25 未満 非常に強い風	車の運転を続けるのは危険な状態となる
25 以上～ 30 未満 非常に強い風	樹木が倒れ始める 瓦が飛び始める
30 以上～ 猛烈な風	屋根が飛ばされるなど、木造住宅が壊れ始める

雨の強さと想定される被害

1 時間雨量 (mm) 予報用語	想定される被害
10 以上～ 20 未満 やや強い雨	長く続くときは注意が必要
20 以上～ 30 未満 強い雨	側溝などから水があふれることがある
30 以上～ 50 未満 激しい雨	マンホールから水があふれることがある
50 以上～ 80 未満 非常に激しい雨	地下街に雨水が流れ込むことがある
80 以上～ 猛烈な雨	大規模な災害が発生するおそれが高い

### 都市型水害の特徴

大都市ではアスファルトで固められた部分が多く、大量の雨水が一気に下水道へ流れ込み、排水の処理能力を超えマンホールや側溝から地上にあふれ、地下街や地下室を襲う災害も起こっています。

地下にいるときは、安全と思いません、雨の降り方や降っている時間に気をつけ、外で何が起きているのかを把握するようにしましょう。

階段を流れ落ちる水の勢いは強く、地上への避難は困難になりますので、地下への浸水が予想されるときには早めに避難しましょう。



#### ■風水害の情報を得るためのツール

##### ○大阪市降雨情報

大阪市建設局では、降雨観測用レーダー「オークレダー」の観測結果と国土交通省近畿地方整備局が設置している「Xバンド MP レーダー」の観測結果とをあわせて、大阪管区气象台が発表する大阪府の大雨警報、大雨注意報などの気象警報の一部を提供しています。

- ・大阪市建設局「大阪市降雨情報」ページの URL…<http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/>

##### ○レーダー・ナウキャスト(降水情報)

気象庁のホームページで、気象レーダーによる 5 分ごとの降水強度分布観測と、降水ナウキャストによる 5 分ごとの 60 分先までの降水強度分布予測等を閲覧できます。

- ・レーダー・ナウキャスト(降雨情報)の URL…<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc>

## 第2章 基本理念

「大阪市地域防災計画」には、風水害についても、「自助」「共助」「公助」の3本柱を軸とした防災対策をとることが基本理念として謳われています。

→詳しくは、Ⅱ 震災編 第2章防災の基本理念（10ページ）をご覧ください。



## 第3章 風水害への備え

### 1 自助

「自分(家族)の命を自分で守ること」

(1)風水害から身を守るために

#### ①気象情報に注意する

テレビやラジオ、電話(177)、インターネットなどを利用して、気象庁から発表される警報・注意報や、区役所・消防署からの情報に注意しましょう。

また、むやみに外出しないようにしましょう。止むを得ず外出する際は、天気予報を確認し、少しでも危険を感じる場所には近づかないようにしましょう。特に堤防・海辺・河川への見物は事故のもとです。

### 風が強いとき

#### 路上にいるとき

強風で瓦や看板が飛んだり、街路樹などが倒れたりします。無理して歩かず近くの頑丈な建物に避難しましょう。



#### 屋内にいるとき

風圧や飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。風が強いときは窓に近づかないようにしましょう。

#### 海辺にいるとき

海への転落や高波に巻き込まれる危険があります。また、高潮の恐れもあるので、速やかに海辺から離れましょう。

### 大雨のとき

#### 川辺にいるとき

上流の豪雨により、川が急に増水する危険があります。川などに近づかないようにしましょう。避難情報が出れば、速やかに建物の3階以上へ避難しましょう。なお、強風や豪雨の時には、防災スピーカーからの避難情報が聞こえないこともあるので、十分に注意しましょう。

#### 車を運転しているとき

視界が悪く、ハンドル操作やブレーキがきかなくなることもありますので、運転は控えましょう。また、アンダーパスなど道路冠水のおそれがある場所は通らないようにしましょう。

#### 路上にいるとき

浸水してきたら、近くの建物の3階以上へ避難しましょう。その際は、なるべく階段を使って上の階へ行きましょう。また、水路・側溝は水量が増えて危険ですので、近づかないようにしましょう。

(2)風水害に対する日ごろの備え家庭で準備できること

定期的な家の中や周囲をチェックしておきましょう。風雨が強まってから屋根などの補強をするのは非常に危険です。絶対にやめましょう。

### 風水害から身を守るために

#### 普段から備えておく

- ・水害ハザードマップで、自分の住んでいる場所がどの程度浸水するおそれがあるのか把握しましょう。
- ・周りより低い場所など、危険な箇所を把握しましょう。
- ・避難場所や避難ルートを確認しましょう。
- ・側溝や排水溝などにごみや落ち葉は溜まっていないかなど、家のまわりの点検をしましょう。
- ・浸水のおそれがある地域や低い土地に住んでいる方は、土のうなどの準備をしておきましょう。

#### 気象情報に注意する

テレビやラジオ、電話(177)、インターネットなどを利用して、気象庁から発表される警報・注意報などの情報に注意しましょう。

#### 降雨情報

大阪市のホームページ (<http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/>) で、市内の雨の量などの情報がご覧いただけます。



#### むやみに外出しない

台風が接近しているときや豪雨のときは、外出しないようにしましょう。やむを得ず外出する際は、気象情報を確認し、少しでも危険を感じる場所には近づかないようにしましょう。特に堤防・海辺・河川への見物は事故のもとです。



## 2 共助 「地域の皆さんで助け合うこと」

(1)風水害時に避難するときは「まだ大丈夫」「自分だけは大丈夫」と思い込まず、早めに避難することが命を守るポイントです。テレビやラジオ、防災行政無線（小学校や区役所等に設置された屋外スピーカー）からの情報に注意して、早めの避難を心がけましょう。

また、ご近所に避難行動要支援者がいる場合は、隣近所に声をかけて集団で避難するなどの配慮に努めましょう。集団で避難する際には、はぐれないように体の一部をロープなどで結んで避難するとよいでしょう。特に高齢者や病人、子どもなどは背負い、安全を確保しましょう。※その他、避難所における配慮事項などについては、Ⅱ震災編に同じです。詳しくは、19ページをご覧ください。



## 3 公助 「行政による支援」

### (1)動員計画

災害が発生・拡大するおそれがある場合に応急対策活動を迅速かつ的確に行うに必要な職員の動員配備を定めています。動員計画については、24ページをご覧ください。

台風接近時には、台風の進路・規模に応じた種別の動員を発令します。

勤務時間外に大雨・洪水警報が発表された場合は、職員2～5名が区役所に参集し、災害対応にあたります。

また、特別警報が発表された場合、1号動員の指令（24ページ参照）があったものとして、全職員が参集して災害対応にあたります。

### (2)具体的な行動

速やかに災害対応を行うため、あらかじめ行動内容を定めています。

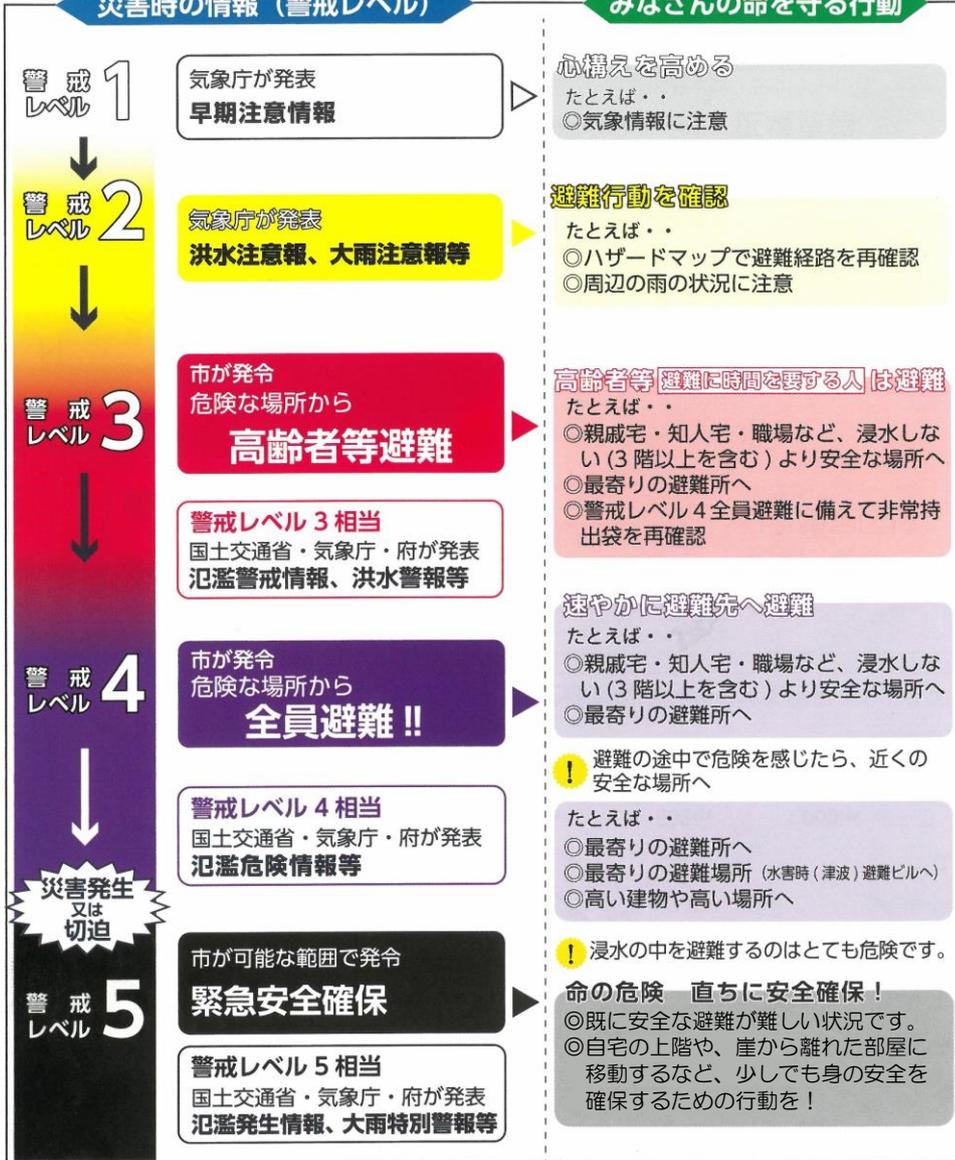
具体的には、

- 区役所ホームページやツイッターなどを活用し、区民の皆さんに警報発令状況(大雨・暴風雨)を周知
- 消防署、警察署、建設局などから被害情報を収集
- 区民の方からの問合せに対して関係部署へ連絡
- 必要に応じて、避難所を開設  
などの対応を行います。

# 大雨で河川氾濫が起きそうなとき

## 災害時の情報（警戒レベル）

## みなさんの命を守る行動



## 避難するときの注意点

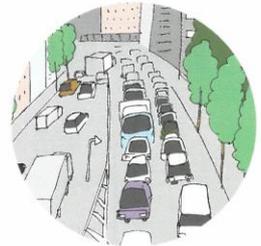
大雨の中や周辺が浸水してから外に出るのは危険です

浸水のおそれが高いときには、出歩かずに屋内で待機しましょう。



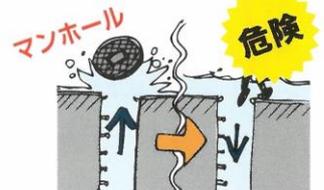
### 原則歩いて避難

やむをえず車で避難が必要な方は、高齢者等避難など、より早い段階で避難を開始してください。



### 浸水した道路は通らない

水が濁って、足元が見えにくくなります。マンホールや排水溝などに転落して危険です。



※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

## 避難はどうする？

浸水が浅い、家屋倒壊の危険性が低いなど  
自宅にとどまれる方

### 無理に外に出ない

風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。



浸水が深い、家屋倒壊の危険性が高いなど  
自宅にとどまれない方

### 早めの避難

浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の1つです。

避難所へ避難するなら  
開設状況を確認



## 水害時避難ビルについて

### イメージ



不 大阪市  
すいがいじ ひなん  
水害時避難ビル  
Flood Disaster Evacuation Bldg.  
水灾时避难楼 / 수해시 대피빌딩  
ひなんのかうじかん じかん  
避難可能時間「24時間」

大阪市では、河川氾濫や津波から一時的または緊急的に命を守るための施設として水害時避難ビルの確保を進めています。いざというときのために、最寄りの水害時避難ビルを確認しましょう。

# 記録的な台風が近づいているとき（高潮）



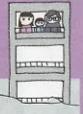
※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

## 避難はどうする？

### 浸水が浅いなど、自宅にとどまれる方

#### 無理に外に出ない

風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。



### 浸水が深いなど、自宅にとどまれない方

#### 早い段階で避難

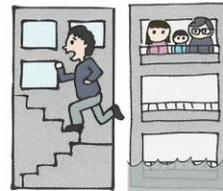
避難所へ避難するのなら開設状況を確認

浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の1つです。



## 避難するときの注意点

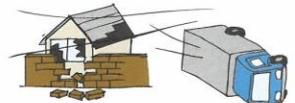
### 浸水より高い場所へ



浸水よりも高く

### 強風の中での運転や避難は危険

風の強さは避難行動に影響します。台風等で猛烈な風が吹いているときには、走行中のトラックが横転したりブロック塀や住家が倒壊を始めるおそれもあります。



# 津波が発生したとき

## 避難はどうする？

### できるだけ早く、浸水被害のない場所へ

揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、浸水被害のない、場所へ避難しましょう。



- 浸水想定区域の外側
- 最寄りの津波避難ビルなどの浸水しない安全な階
- 最寄りの高い建物や高い場所の浸水しない安全な階

なお、南海トラフ巨大地震による津波（+1m）は、発生後110分で大阪市域に到達すると想定されています。

## 避難するときの注意点

大きな揺れ、ゆっくりとした揺れを感じたら、海岸や河川から離れ、避難しよう

津波警報が出ているあいだは避難を続けよう



## 津波情報

予想される津波の高さ		警報の名称	みなさんの対応
数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現		
10m 超	巨大	大津波警報（特別警報）	●できるだけ早く、高いところへ
10m 5m<高さ≤10m			
5m 3m<高さ≤5m			
3m 1m<高さ≤3m	高い	津波警報	●逃げ遅れたら、高い建物、高い場所へ駆け上がる
1m 20cm≤高さ≤1m	（表記しない）	津波注意報	●津波情報に注意してください